

病理検査部門の教育プログラム

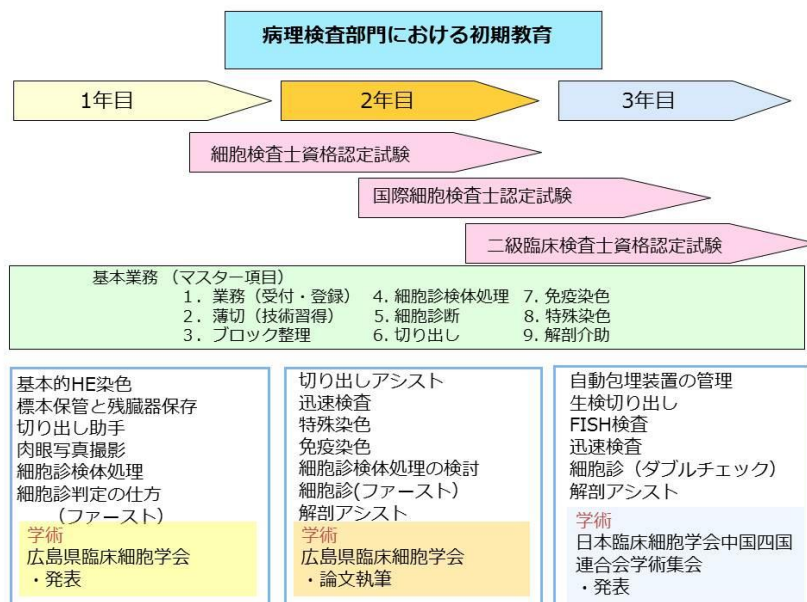
【教育方針】

広島大学病院病理検査部門では、精度の高い病理組織診断ができる標本作製に従事する病理技術の取得。診断・治療の確定に役立つ精度の高い細胞診断技術の習得を目標に教育を実施します。病理・細胞診断に必要な情報収集と診断に有効な臨床情報の把握。細菌・ウイルス感染の特定に必要な知識。中期教育では、細胞検体を用いての遺伝子検査技術の取得を目指します。将来的に教育研究機関としての学術リーダーを育成します。

【新人教育プログラム】

2年間で細胞検査士の資格取得。3年間で病理検査に必要な基礎技術を取得し、二級臨床検査士資格（病理学）の取得ができる知識と技術の習得を目指します。

細胞検査士の資格取得に必要な細胞検査技術と診断知識の習得。適正な細胞標本作製するための検体処理法を理解し、細胞診報告書の書き方、免疫染色を用いた鑑別診断を教育します。以下のスケジュール概要に則り、入職後1年間で標本作製技術の実施と細胞診の検体処理。2年目以降より迅速検査技術の習得、解剖介助入りに解剖組織知識の習得と肉眼写真撮影などに従事します。特に3年間の業務経験を積ませ二級臨床検査士の受験資格を目指します。



【学術業績】

入職3年間で学術計画です。発表抄録、発表スライド及び論文作成の指導を行います。

特に、広島県臨床細胞学会誌は、査読指導されますので、日本臨床細胞学会論文執筆の登竜門となります。

大分類	中分類	小分類	摘要名（学会・講習会）
学会発表	地方学会	一般演題（口演）	広島県臨床細胞学会（スライドカンファレンス）
学会発表	地方学会	一般演題（口演）	広島県医学検査学会
学会発表	地方学会	一般演題（口演）	日本臨床細胞学会中国四国連合会
執筆	雑誌（和文）	単著	広島県臨床細胞学会誌
執筆	雑誌（和文）	単著	広島県医学検査学会誌
講演	講師（地方）		細胞検査士初心者研修会

【啓発活動】

Love49（子宮の日）あるいはリレーフォーライフ広島に参加して、子宮頸がん検診の重要性や細胞診検査について説明できる体験教育を行います。

診療支援部の平成 27 年度第 2 回学術・活動報告会（H27.12 月）で、病理検査部部門から参加した 2 名が、子宮の日の子宮頸がん検診の啓発活動とがん患者さん・ご家族を支援するリレーフォーライフ広島でのチャリティ活動を報告した。

【初期教育における過去の学術実績】

論文

1. 丸橋由加里, 尾田三世, 有廣光司他. 肺乳頭腺腫の 1 例 広島県臨床細胞学会誌. 2015 vol36 68-72.
2. 田中祐奈, 小川郁子, 有廣光司他. 軟骨芽細胞型として前頭部に再発した骨肉種の 1 例. 日臨細胞広島会誌. 2014, 35: 47-52.
3. 平 祐子, 小川勝成, 有廣光司他. 馬尾神経に発生した粘液乳頭状上皮種の 1 例. 日臨細胞広島会誌. 2012, 33: 63-67.

発表

1. 第 35 回日本臨床細胞学会広島県支部総会発表 「胸水細胞診で良悪性の鑑別が困難な線維性胸膜炎の 1 例」 栗田佑希, 小川勝成, 有廣光司他. 2013 年 広島.
2. 第 55 回日本臨床細胞学会秋期大会発表 「膀胱癌細胞と良性膀胱管細胞の鑑別に FISH 法による p53 と p16 遺伝子異常の評価は有用である」平 祐子, 尾田三世, 有廣光司他. 2014 年 神奈川.